

長野県信濃美術館の整備検討に関する経過

○信濃美術館整備検討委員会

信濃美術館の機能、規模等整備に必要な基本事項について検討

- ・平成10年 9月 設置
- ・平成12年 3月 「信濃美術館本館整備の基本的方向性について」を知事に提出

○信濃美術館建築検討委員会

上記報告書を基本方針とし、施設の内容、規模、設計等必要な事務事項について検討

- ・平成12年 9月 設置
- ・平成13年 2月 田中知事が着工の凍結を指示

※ 当時予定されていたスケジュール

H13年度	H14年度	H15年度	H16～17年度	H18年度	建設費は
基本構想策定	基本設計	実施設計	解体・建設工事	開館	約70億円を想定

○信濃美術館のあり方検討会

平成22年度監査委員等からの指摘 ※ を受けたことなどを踏まえ、庁内関係機関による施設の老朽化や運営面での美術館の今後のあり方について検討

- ※ ・老朽化しているが予算が限られ適切な修理が行われていない、湿度管理が困難
- ・トラックヤードがない、保管スペースが無いことから、美術品の搬出入等に課題

- ・平成23年 4月 第1回開催
- ・平成24年 2月 第2回開催(現状と課題の整理)

◆現状と課題◆

【施設】

- ・本館としては、全国で最も古い建物である
- ・展示室、収蔵庫等のスペースが不足している
- ・段差が多く、バリアフリー化が進んでいない など

【運営・連携】

- ・学校教育との連携強化が必要
- ・観光振興における美術館のあり方 など

○長野県文化芸術振興施策の検討

長野県総合5か年計画～しあわせ信州創造プラン～の具現化に向け、外部有識者等からの助言を踏まえ、今後の長野県の文化芸術振興に対する方向性と取組について検討

- ・平成25年 4月 第1回開催
- ・平成26年 4月 文化芸術振興施策の方向性と取組のとりまとめ

◆信濃美術館の魅力向上◆（抜粋）

【方向性】

信濃美術館を長野県の文化芸術の発信拠点となるよう、ソフト・ハードの両面から整備について検討する。

- ①高齢者や障がい者を始め、多くの県民の方々に、気軽に優れた作品を鑑賞していただく。
- ②善光寺や城山公園と一体となって、国内外の多くの観光客に訪れていただく。
- ③県内の美術館や教育機関とネットワークを組んで、共同の企画展の開催、学芸員の人材育成など県全体の美術文化向上に寄与する。

【取組】

○「信濃美術館整備検討委員会（仮称）」の設置及び検討

- ・基本コンセプトの策定
- ・展示室や収蔵庫等必要な機能、県立美術館として特色ある機能の検討

○「信州ミュージアム・ネットワーク（仮称）」の構築

○アールブリュット展の開催

など

○信濃美術館整備検討に向けた事前準備会

外部有識者による「信濃美術館整備検討委員会（仮称）」の設置による整備検討に当たり、事前に地権者である長野市と土地利用上の諸課題や信濃美術館周辺の整備等を協議・調整するために設置

- ・平成26年 2月 第1回（美術館、城山公園周辺の現状を確認等）
- ・平成26年 4月 第2回（今後の協議・調整意見交換）
- ・平成26年 8月 第3回（協議結果まとめ）

◆協議結果◆

【土地利用】

- ・県が城山公園を無償借用（10年更新）。継続については問題なし。

【土地利用上の制限等】

- ・追加建設可能面積 5,456.78 m²
- ・第一種低層住宅専用地域、第二種風致地区による制限。

【周辺整備・活性化等】

- ・具体的には今後検討
- ・長野市立の美術館と信濃美術館の連携

※ 今後、信濃美術館を整備するに当たっては、「信濃美術館整備検討委員会（仮称）」において検討し、併せて本準備会を「土地利用等調整会議（仮称）」に移行し、引き続き協議・調整していく。